



# 鴻中だより



鴻巣中学校  
TEL 048(541)0272

令和5年5月1日発行 第2号  
公式ホームページ <https://konosu-j-konosu-edumap.jp>

## 校長の心配を笑顔で返し、柔軟に対応する鴻中生

～ある始業前の朝のできごと～

校長 服部幸司



2019年(令和元年)、全国の児童・生徒1人に1台のコンピュータ(学習者用端末)と高速ネットワークを整備する文部科学省の取組(いわゆる GIGA スクール構想)が開始されました。

鴻巣市では、他市町に先駆けて令和3年度から1人1台学習者用端末(以下端末)の本格稼働が始まり、「ノートと鉛筆」だけで学ぶ生徒、「黒板とチョーク」だけで教える先生の時代が少しずつ動き出しています。

本校でも、「もっともっと生徒に端末を活用してほしい」という思いから、先月末から以下①、②の取組を開始しました。

- ①「朝、充電室(教室とは別の部屋)から端末を教室に持って行き、帰りの会時に端末を充電室に返す。」
- ②毎週金曜日に端末を家庭に持ち帰り、月曜日に学校に戻す。

簡単と思える二つの取組ですが、市から貸与<sup>たいよ</sup>されている高価な端末を紛失<sup>ふんしつ</sup>してはいけない、落として壊してはいけない、面白半分で画像を撮って拡散する等の取り返し<sup>よき</sup>のつかないいたずらをさせてはならない…等々の心配が私を始め教職員の頭の中には過ります。

私は、ある始業前の朝、早く登校している各学年の生徒に、教室を回って聞きました。  
校長…「もし、朝、クラス全員の端末を教室に持ってくるとしたらどうしたらいいかな。」  
1年生…「校長先生、小学校の時は後ろのロッカーの上に名前の順に置いて、必要な時にどんどん使っていましたよ。」  
校長…「でも、ロッカーの上だと落としてしまう子もいるんじゃないかい？」  
1年生…「(ごく自然に、笑顔も浮かべながら) いいえ、そんな人はいませんでしたよ。」

校長…「端末を毎日個人で管理するとしたら、机の中にしまうしかないかな。」  
3年生…「校長先生、充電室にラック毎にまとまって置いてありますから、そのまま持ってきて、後ろのロッカーの上に置いてけばいいと思います。皆、自分の端末の場所は分かっていますから2、3年生はスムーズにできると思います。」

朝、校長からの突然の問いかけにも関わらず、最後まで話をしっかり聞き、正対<sup>せいたい</sup>した答えが返ってくるのです。そして、「私たちは先生方の指示に柔軟に対応していきますよ。」というぐらいの回答ぶりなのです。

前述した紛失や破損、情報モラルの心配は尽きるものではありません。しかし、改めて本校生徒のたくましさ、たのもしさに触れ、驚かされ、「管理(状態が変わらないようにすること)」より大切なものを再認識したのです。自信をもって、鴻巣中は、より学びの自律性を高めるべく、「1人1台端末活用による学びの推進」を図っていきます。